

令和7年度 札幌小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：23006

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
◇札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に基づくアンケートより、「自分なりに調べたり聞いたりして、思いや考えをもととしている」姿や「意見の違う人ともよく話し合おうとする」意識の高まりがみられた。 ◇全国学力学習状況調査の結果から、1人1台端末を用いることで学ぶ意欲が高まり、考えを共有したり他の人の考えと比較したりするなど交流の際の有効な手段の1つとなっている。	◇札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）に基づくアンケートでは、ここ3年で「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」や「自分の意見を進んで発言しようとしている」と答えている児童の割合は増えたが、全体的には低い傾向にある。 ◇「自分で計画を立てて勉強している」と答えている児童の割合が低く、基礎基本や学び方の定着が課題である。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標である「人の役に立ててうれしいと感じることがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童は9割を超えている。その一方で、「自分が必要とされていると感じる」と答えた児童の割合は低い傾向にある。互いに関わり合い、認め合いながら、友達と一緒に学習することが楽しいと実感できる学校づくり、授業づくりを目指す。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「自リツ」する子の育成 ～自ら考え、決定して、判断し、自ら行動する子ども～

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	◇研究副主題「学び合いのある授業の創造」の実現 <イントロダクション> ・思いや考えを生む教材化や教師の関わり → 提示の工夫 ■自分事化 …言語活動の設定・実体験に基づく等 ■焦点化 …既習とのずれを生む・問い返し等 ■視覚化 …映像資料の活用・ロールプレイ等 <個別探究→協働探究> ・考えを伝え、認め合う学習活動 ■子どもにとっての「 学びの必要感 」と、「 学びのねらい 」が合致するように。 <リフレクション> ・自らの学びや成長を実感することのできる振り返り	◇「自分たちで創り上げることが楽しい！」と思える活動 主体的に判断・計画・実行することができるように 協働的に人と関わりながら活動ができるように <児童会活動・係活動・学校行事> ・子ども自らが発信する活動や 創造的な活動 の推奨とそのための場の設定 ・「みんなで」を意識した取組 <学級活動> ・互いに認め合い、高め合いながら、相互承認の感度を高める。 <リフレクション> ・振り返りを基に、次の活動への目標をもたせる。



〈本プログラムの実行に向けて〉

